

2023年度 北関東・山梨ブロック研修

- 1 研修会のテーマ 「学校教育相談の心と英知と技を磨く」
- 2 日時 2023年10月15日(日) 10:00～16:00 (受付 9:30～)
- 3 会場 東京家政大学板橋キャンパス 17号館1F

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/access/index.html>

- 4 日程
受付 9:30～
講演会 10:00～12:00
昼食 12:00～12:40
交流会※ 12:45～13:20
講座 13:30～16:00



5 内容

午前の部 講演会 (定員 80名)

講師 杉山 雅宏氏 (東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科教授)

演題 「大人が立ち止まり、不登校・中途退学者の心の声を聴かせていただく」

午後の部 講座 (※守秘義務があります)(各 40名程度)

A 「学校復帰事例を交え不登校の予防について考える検討会」

講師 原口 政明氏 (埼玉純真短期大学こども学科准教授)

B 「いじめが重大事態化する理由を学ぶ事例研究」

講師 中村 豊氏 (東京理科大学教職教育センター教授)

～講座の内容紹介～

A 「学校復帰事例を交え不登校の予防について考える検討会」 原口 政明氏

令和3年度の小中学校における不登校児童生徒は24万人を超え、今後、コロナ禍の影響もあり、さらに増加していくことが予想されます。不登校解消の取組は多く紹介されていますが、いったん不登校の状態となると学校に復帰させるには、相当の時間を要します。不登校状態のまま中学校を卒業し、高校へと進学する生徒も多く見受けられます。この状況の改善に向けて、子どもたちが元気に登校する事例を持ち寄り、不登校の予防のために、学校として、教員として何ができるか検討していきます。

B 「いじめが重大事態化する理由を学ぶ事例研究」 中村 豊氏

いじめ防止対策推進法が施行されて10年目となります。しかし、全国の小・中・高校における「いじめ重大事態」は700件超発生(令和3年度)しており、この10年間では漸増しています。半面、いじめが重大事態化するには理由があり、それを知る手掛かりは、いじめ重大事態に係る調査報告書にあります。本講座では、いじめを重大事態化させないための視点について、いじめ重大事態の事例を検討していくことで共に学んでいきます。

6 参加費

- ◆ 日本学校教育相談学会会員 2,000円
- ◆ 一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会構成団体の有資格者
ガイダンスカウンセラー、教育カウンセラー、カウンセリング心理士、学校心理士、
臨床発達心理士、キャリアカウンセラー 2,000円
- ◆ 大学院生(社会人大大学院生を除く) 1,000円
- ◆ 一般 4,000円

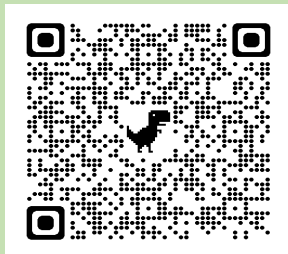
※当日会場受付でお支払いください。

7 申し込み方法

以下のURLから申し込みフォームを開き、必要事項を入力してください。

<https://forms.gle/JaDuZ2NonT7eTaK48>

以下のQRコードからも読み込めます。



参加申し込みと同時に、弁当の申し込みもできます。

お茶付きで1,000円です。

十条駅近くに飲食店がありますが、当日は日曜日のため休みの店が多いです。

申し込み期限 10月12日(木)正午

定員に余裕がある場合、当日参加の受付をします。

当日受付の参加費は、一律4,000円です。

8 問い合わせ

日本学校教育相談学会埼玉県支部事務局

事務局長 杉山 雅宏

Email: rabicat0213@gmail.com

※交流会について

北関東・山梨ブロックの会員相互の交流と親睦を図る目的で行います。5, 6名のグループに分かれて話し合いをします。埼玉県支部のスタッフの司会で進めます。参加は任意です。